

明るい小矢部

No.168
2010年4月号

発行
日本共産党
小矢部市委員会
小矢部市七社 245
砂田喜昭
TEL 67-4322
FAX 67-4842

3月議会
報告

日本共産党を大きくして 政治を前へ

市議会議員 砂田喜昭

7月に参院選。自民にはげごりだが、民主にもガツカリ。「こんな声が周りで聞かれます。テレビでは第三極が必要と、みんなの党を持ち上げています。そんなときに見たのがチヨリッテレビ。3月13日早朝放映「みのもんだ」のサタデーずばっつ。みんなの党の正体見たりでした。

「みんなの党」は「小泉」路線推進

「サタデーずばっつ」より

番組では、みんなの党の渡辺喜美代表が自著で中途半端に終わった「小泉」竹中路線、これを取りこえた本格的改革路線をつくる」と主張しているのに対し、日本共産党の小池晃政策委員長が貧困と格差を広げ日本を「焼け野原」にするなと発言。

子ども医療費 中学生も無料に



一般質問する砂田喜昭市議 = 3月8日、TVクロスより

医療費無料は世界の常識

小矢部市は子育て支援のために、県内でも他の自治体先駆けて、小学6年生までの医療費を入院、通院とも無料にしました。4

月から所得制限を撤廃し、すべての子どもが無料となります。最近、射水市などでは中学生も無料の対象となりました。



世界の先進国ではアメリカを除くと、医療費が無料かごくわずかというものが当たり前です。日本のように3割負担と、いつの間にか異常です。

昔は日本でも無料だった。日本でも30年ほど前までは6歳以上の医療費は無料でした。サライマの医療費が無料というのは戦後ずっと続いてきた制度です。

日本共産党は、子ども医療費無料制度を国の制度として確立すること、そして、ゆけゆけはすべての人が医療費の心配をしなくて済む。

小池氏は「ごまかさないうまい」と一喝。失業給付に使う失業保険積立金を医療に使えるか。むちゃくちゃな議論だと述べ、小泉構造改革「路線を無責任に、いさう推進しようとする「みんなの党」の姿勢を批判しました。

選挙が政治を変える。昨年の総選挙は、国民の一票一票で自民党公明党政権を退場させた。選挙で政治は変えられる。戦後初めて多くの国民が実感したことで、日本のガツカリ感を乗り越えて、これまでの弱肉強食の政治を変えるためには、庶民の味方で財界アメリカンキッズともいえない政治を前に動かして、日本共産党を大きくするよう、力を貸して下さい。

くもよご国へけりをめんどくさい。

砂田市議 小矢部市が入院、通院を中学3年生まで無料にするの、どれだけの予算が必要となるのか。ぜひ実現を。

長「一丁ズがあれば市検討したい」

桜井市長 必要な予算は700万円。左手には理想を掲げ、右手にはそろばんを持ってバランスよくすめたい。その一丁ズがあれば検討させていただきます。

後期高齢者医療制度廃止を！

民主党は総選挙の公約で後期高齢者医療制度の廃止を約束していましたが、ところがその公約を4年間先送りしたばかりか、今度は65歳以上をすべて国民健康保険に加入させた上で、現役世代とは別枠の会計に移すことを検討し始めました。医療費がかかる高齢者だけ別勘定にすれば保

険として成り立たず、負担が際限なく増え続けます。国保に加入しても別勘定であれば、高齢者差別を広げるだけです。いわば姥捨て山の「入山年齢を75歳から65歳に引き下げる」ものです。

砂田市議は3月議会でも、こんなことを認められないと反対討論しました。

国保税値下げ

1人平均
5616円

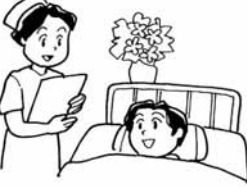
国民健康保険税が引き下げられることになりました。医療分の税率で、所得割が0.2%、現行7.8%を7.6%に、均等割加入者数割が600円、現行24000円を23400円に、平等割世帯割が1500円、現行26000円を24600円に引き下げられます。一人平均では、2009年度決算見込みと比較して5616円の引き下げです。

引き下げを求めた
共産党

国保税の最高限度額は引き上げます。医療分が現行の45万円から47万円に、介護分が9万円から10万円に、後期高齢者支援分が11万円から12万円になり、12万円になります。

日本共産党と砂田市議は市議会や国民健康保険運営協議会などで高い国保税の引き下げを求めてきており、昨年9月議会でも再度取り上げました。これらの努力が実ったものです。

下げ幅をもっと多くするためには、国が削減した国保の補助金を増やすことが不可欠です。日本共産党は一人1万円の国保税引き下げを求めており、そのために必要な財源は全国で4千億円です。小泉、竹中路線「で削られた社会保障費を元に戻すために、軍事費や大企業、大資産家減税に税金を入れることができ、共産党を大きくしてあげよう」。



後期高齢者医療制度 廃止を！

民主党は総選挙の公約で後期高齢者医療制度の廃止を約束していましたが、ところがその公約を4年間先送りしたばかりか、今度は65歳以上をすべて国民健康保険に加入させた上で、現役世代とは別枠の会計に移すことを検討し始めました。医療費がかかる高齢者だけ別勘定にすれば保

険として成り立たず、負担が際限なく増え続けます。国保に加入しても別勘定であれば、高齢者差別を広げるだけです。いわば姥捨て山の「入山年齢を75歳から65歳に引き下げる」ものです。

砂田市議は3月議会でも、こんなことを認められないと反対討論しました。

緊急連絡。運動場に飛行機が落ちました。先生の指示に従い1年生から3年生は児童センターに避難してください。……と、普天間第二小学校で米軍機墜落を想定した避難訓練が行われていることを、参議院予算委員会でも日本共産党の仁比議員が告発しました。新基地は作らせないと辺野古浜のアンダー3年以上も座り込みをして闘っている人たちがいます。その日々の出来事と穏やかな海の写真をインターネットで辺野古浜通信に毎日書き込んでいます。3/16、時、戦車、浜を走ります。3/17朝7時から実弾射撃の音が響いています。3/24海を横断している大きな揚陸艦、戦車が10台以上シコブの浜に向かっています。……など、基地の島沖繩の苦しみは小矢部では計り知れないものがあります。政府は、普天間基地の移設先探しに右往左往したあげく、総選挙中の約束に反して結局は沖繩に新しい基地を作ろうとしているので、うが、ワシントンポスは海兵隊のグアム移転による基地計画に地元グアムで怒りと報道しました。沖繩で危険ではないものは、このくくても危険ではないものです。先祖から受け継いだ命が一番大切なもの。静かで安全な暮らしがほしいだけ。それを壊すもの戦争につながるものとは断絶し続けるよ、テント村のおじいさんは話してました。イラクやアフガニスタン戦争行くための海兵隊基地は日本のどこにもありません。憲法9条を持つ日本は軍備による抑止力なく、政治の力、話し合いで平和を築くことに力を注ぐべきです。第2の普天間第二小学校はつくらせたくありません。